

いずよう魅力化協議会だより

NO. 2 令和4年2月発行

第2回いずよう魅力化協議会

11月4日に開催した第2回「いずよう魅力化協議会」の様子をお知らせします。今回は8名の委員にご出席いただきました。

学校案内・授業参観

まず、校内の施設や授業を見て頂きました。案内は高等部地域サービス班の生徒が行いました。



ディスカッション

テーマ1

出雲養護学校のめざす子ども像について

8月4日に校内教職員研修として、本校・分教室の教職員が15グループに分かれて、「めざす子ども像」について協議した結果をもとに、ご意見をいただきました。

★目指す子ども像の10観点と

その観点が重要だとしたグループの数

- ①心身が健康で体力がある (5)
- ②興味関心のあること、好きなことを追求し楽しむ (4)
- ③自分の良さに気付く、認める (2)
- ④自ら考え自己選択自己決定し、行動する (4)
- ⑤柔軟に考え、対応する (2)
- ⑥挑戦する、意欲、根気強さがある (5)
- ⑦笑顔、あいさつをする (3)
- ⑧人やもの、こと、地域と関わる (15)
- ⑨思いを伝える (発信する) (8)
- ⑩相手のことを理解し大切にす、助け合う (2)

委員からの意見 (抜粋)

- 「あいさつをする」をあげたグループが少ないが、あいさつができることはとても大切。
- 保護者として「笑顔」が大切だと思う。親の願いは子どもがずっと笑顔でいてくれること。
- 「健康」より「安定して」という視点のほうがよい。自分でクールダウンができること。
- 養護学校に閉鎖的なイメージがあったが、来てみて変わった。地域に積極的に出かける子になって欲しい。

テーマ2

地域において学校の果たすべき役割は何か、または地域が学校に期待すること

委員からの意見 (抜粋)

- 将来家庭を持つ子もいる。保育園や福祉施設が近くにある立地を生かし家庭人として必要な学びを生徒と企画してはどうか。
- 大学とのコラボレーションで、作業班と商品開発をしたい。
- 地区の文化祭などで地域の人たちに作業製品を充分購入してもらえるようになることよい。
- まずは学校のことを知ってもらうこと。そうすることで学校の役割が明確になるのではないかな。

第3回は2月22日(火)に行います。

学校と地域をつなぐ

虹の架け橋をつくろう!

～いずよう魅力化協議会～



